

American Rock Lyric Landscape

—アメリカン・ロック・リリック・ランドスケープ—

ロックの歌詞から見えてくるアメリカの風景

文=ジョージ・カックル

イラストレーション=花井祐介

第18回

ママズ&パパス 「クリーク・アレイ」

成功以前の自分たちのエピソードを歌で披露



The Mamas & The Papas
"Deliver"
Dunhill DS50014 [1967]
⇒Beat Goes On@BG0CD462

の曲は彼らが売れる前の話を詩にしている。当時、ともにライヴをし、成功しようとしていた人たちの名前が次々に登場する。

John and Mitchie were getting kind
of Ichy just to leave the folk music
behind

Zal and Denny, working for a penny
Trying to get a fish on the line

♪ジョンとミッチー（ミッシェル）はフ
ォーク・ミュージックを捨てるか捨てまい
か迷っている。'Ichy'とはむずむずする
という意味だが、ここでは、何かしたいけ
ど躊躇している、という感じで使われてい
る。ジョンは自身のバンド、ジャニーメ
ンでのツアー中、サンフランシスコのライ
ヴハウス／ハングリー・アイ✓でミッシェ
ルと出会ったことで妻と別れ、何か新しい
ことをやりたいと感じていたのだろう。

♪ザルとデニーはペニー（1セント）の
ために働いていた。つまり安いギラで
働くことだ。そして魚を釣るかのごとく、
何か引つかからないかと思っている。ザル
とはラヴィン・スプーンフルのザル・ヤノ

「夢のカリフォルニア」や「マンデー・
マンデー」などで一世を風靡したママズ&
パパスは、60年代を代表する4人組ヴォー
カル・グループ。自由なカリフォルニアの
ライフスタイルを象徴していた。なかでも
一番目立ったのは、貫禄たっぷりのママ・
キヤス。これほど太っている人がイメージ
コンシャスなのは、ポップの世界では珍し
かった。もう一人の女性はママ・キヤスと

は対照的なモデルのミッシェル・フィリッ
プスで、女の子の憧れだった。男性はヴェ
テランのデニー・ドウルティー。そしても
うひとりリーダーであり、メインのソン
グライターでもあるジョン・フィリップス。
彼の曲のイメージが、このバンドの特徴だ。
今回選んだのは、67年の3作目『デリヴ
アー』収録の『Creeque Alley』。『ビルボ
ード』のチャートでは5位を記録した。こ

フスキーのことで、当時はデニーのバンド、
ハリファクス・スリーのメンバーだった。

In a coffee house Sebastian sat
And after every number they passed
the hat
McGuinn and McGuire just a getting
higher in LA
You know where that's at
And no one's getting fat except Mama
Cass

♪セバスチャンはコーヒーハウスに座り、
曲が終わるたびに帽子を回して、お客から
投げ銭をもらっていた。Sebastianとは、
もちろんラヴィン・スプーンフルのジョン
・セバスチャンのことだ。そして、Mc-
GuinnとMcGuireはLAで、飛び始めた
とらう。前者はニースのリーダーのロジヤ
ー・マギン、後者はベスト曲「イーヴ・オブ
・ディストラクション」を歌ったハリ・マズ
ワイア。この「higher」はドラッグで飛ぶ
こと以外に、マギンのグループがこの頃売
れ始めたことも指す。最後に「ママ・キヤス
以外は誰も太っていない」とあるが、体型

のことだけでなく彼女がジャズ・シンガー
として稼いでいたことにも由来する。'get-
ting fat'には儲かったという意味もある。

Zally said Denny
You know there aren't many
Who can sing a song the way that you
do, Let's go south
Denny said Zally
Golly don't you think that I wish I
could play guitar like you

♪ザリー（ザルの愛称）がいう。デニー、
君ほど歌える人はあまりいない。南に行こ
うよ。彼らはカナダでバンドをやっていた
から、南とは、アメリカに行くことだ。
お次はデニーがザルのギターを褒めている。

Zal, Denny and Sebastian sat
At the Night Owl
And after every number they passed
the hat

ついでには、ザルとデニーとセバスチャン
が、NYのグリニッチ・ヴィレッジにある

コーヒーハウス／ナイト・アウル✓で投げ
銭ライヴをやっていたことを歌っている。

McGuinn and McGuire still a getting
higher in LA
You know where that's at
And no one's getting fat except Mama
Cass

♪マギンとマギアがLAで飛び続け
ている。わかるだろう。これは売れて
いることだけを指しているわけじゃない。

When Cass was a sophomore
Planned to go to Swarthmore
But she changed her mind one day

ママ・キヤスはスウォースモアという大
学に行くはずだったが、音楽を続けるため
にやめてしまった。家族は皆インテリで、
彼女もその道へ進むはずだったんだ。

Standing on the turnpike
Thumb out to hitchhike
Take me to New York right away

When Denny met Cass he gave her
love bumps
Called John and Zal
And that was the Mugwumps

「高速道路に立ちヒッチハイクするため
に親指を出していった、私をNYに連れて
ってと。ここでの「私」はママ・キャス
のことだ。「デニーがキャスに会ったとき
キャスは「love bumps」をあげた。これは
キャスがデニーにひと目惚れしたことをい
っている。キャスがビッグ・スリーとい
うバンドにいたときに、デニーがそのライヴ
を観たのがきっかけだったようだ。そし
てデニーはセバスチャンとザルを呼び、キャ
スとともにマグワンプスを結成。

McGuinn and McGuire couldn't get
no higher
But that's what they were aiming at,
And no one's getting fat except Mama
Cass

「マギンとマグワイアはこれ以上は上
に行けなら。目的は達成された。これは



65年のチャートで二人とも『ビルボード』
のホット100チャートで1位になったこ
とを指す。マギンはバーズの「ミスター・
タンブリン・マン」で、バリー・マクワ
イアは「イーヴ・オブ・ディストラクショ
ン」で、それぞれ1位になった。最後に、
まだ太っているのはママ・キャスだけだ
と歌う。マギンもマグワイアも頂点を極め
たわけだから、これはすでに事実ではないが、
サビだから繰り返しているだけだろう。

Mugwumps, High jumps
low slumps, speed bumps
Don't you work as hard as you play
Make up break up
Everything is shakeup
Guess it had to be that way

マグワンプスは売れなくて、解散してし
まった。「high」もあつたが、スランプ
もあつた。マギン遊ぶように仕事をしな
いとね。「play」は遊びと演奏をかけてい
るだろう。仕方がないとあきらめている。

Sebastian and Zal formed the Spoonful

Michelle, John and Denny
Getting very tune full

「セバスチャンとザルは、(ラヴィン)
スプーフルを結成した。ミッシェルとジ
ョンとデニーは、よくなつてきている。後
者が後のママズ&パプスで、その3人のハ
ーモニに磨きがかかっていた。ジョンは、
デニーがグリニッチ・ヴィレッジで歌うの
を観て、バンドに誘ったという。当時、デ
ニーはマグワンプスを解散したばかりだ

McGuinn and McGuire just a catchin'
fire
In LA you know where that's at
And everybody's getting fat except
Mama Cass

「マギンとマグワイアは、LAでかなり
売れ始めた。今度はママ・キャス以外の
みんなも太ってきた。

Broke, busted, disgusted
Agents can't be trusted
And Mitchy wants to go to the sea

「金もなくなつて（broke）、捕
ま（busted）、嫌（disgusted）
もあつた。エージェントは信用できな
ら。ミッシェルは海に行きたがるという。本
当の話だが、ジャーニーメンを解散して
あつたことがないジョンとミッシェル
とデニーは、ヴァージン・アイランド
に行つたんだ。

Cass can't make it
She says we'll have to fake it
We knew she'd come eventually
Greasin' on American Express card
Tents, low rent
But keeping out the heats hard

「キャスは行けないと言つていたが、
メンバーたちはいつか来ると思つて
いた。実際に彼女はデニーに惚れて
いて、バンドに入りたくて島へ来て
しまった。盗んだアメリカン・エクス
プレスのクレジットカードを使つて旅
していた。盗んだという意味だ。「low
rent」は安い家賃だが、テントと
あつたので、彼らはキャンブして
いたのだろう。しかし熱（heats）
を入れないのは難しい。実は「heats」

ほかに警察の意味もある。
Duffy's good vibrations
And our imaginations
Can't go on indefinitely
And California Dreaming is becoming
a reality

「ダフィーのグッド・ヴァイブレイシ
ョンと俺たちのイマジネーションは、
いつまでも続かない。ダフィーは
ヴァージン・アイランドのクリク・
アレイという道で、ライヴハウスを
やっていた人物。後にママズ&
パプスとなる4人はそこで練習
していた。「good vibrations」は、
当時流行っていたピーチ・ボ
ーイズの曲名にかけている。彼ら
はもうヴァージン・アイランドで
滞在は潮時だと感じ、カリフォル
ニアに行こうと決めた。ご存知の
ように、彼らの最初のヒット曲が
「California Dreaming」だ。補
足だが、2年前にリーダーのジ
ョン・フィリップスの娘が自伝
「High On Arival」を出版した。
ドラッグ中毒の話だけでなく、
ふたりの近親相姦についても書
かれ、かなりショッキングな内容
だった。